



プロジェクト名称

Candle - night

プロジェクト活動概要

現代の人は仕事などで忙しい毎日を送っています。そこで、夏至と冬至の夜の2時間だけで電気を消して人々にスローな夜を提供しようと活動を行っています。さらに今年は東日本大震災が起こり、日本のエネルギー問題が露わになりました。これを期に人々に電気の明るさだけに頼らず、ろうそくの明かりの大切さを知り、省エネやエコについて考えを増やしてほしいと願っています。

私たちは夏至には表参道で行われるCandle night@omotesandoに参加し、冬至には芝浦工業大学大宮キャンパスでキャンドルナイトを行います。

活動状況報告&活動写真など【活動期間:2011年6月1日～9月30日】

Candle night@Omotetsando

<インスタレーション> ～夏至～

●タイトル:壁に奏でる光

●設置場所:表参道 オリエンタルバザー前

●コンセプト:ペットボトルにトレーシングペーパーを巻いたものにティーキャンドルを入れ優しい光が出るようにした。そのトレーシングペーパーに歩行者から「願い」を込めたメッセージを書いてもらう参加型にした。また、東日本大震災により日本は大きな被害を受けた。そのため、被災地・被災者が再び立ち上げられるようにと人々の願いがこもった多くのキャンドルの光で壁に「不死鳥」をデザインした。

●イベント当日の状況

今回の作品は、来訪者の方にトレーシングペーパーへ「想い・願い」を書いてもらう参加型にしたため、実際に書いてもらえるか心配でした。しかし、オリエンタルバザー前は多くの人々が通過し、予想以上にメッセージを書いていただけました。

人の込み具合については、ピーク時に机の前(メッセージを書くため)に10人程たまりましたが、通行の邪魔になるほどではありませんでした。

作品については、予想外にもショーウィンドウにうつる一つ一つの光がさらにインパクトのある作品に仕上がったと思います。

通過していく人々からもお褒めの言葉をいただくことができ、キャンドルナイトの本来の目的である「スローな夜」を提供できたと思います。



<カフェ> ~夏至~

- タイトル:PLANET
- 設置場所:表参道ヒルズ内 洋食ミヤシタ
- コンセプト:今、震災でみんなが安心して暮らすことができていない。しかし、空を見よう。星たちはこんなにも私たちを勇気づけてくれている。電気がなくても、照らし続けている。
- イベント当日の状況
店内に置くキャンドルはシェフの本間さんからの評判がよく、またお客様からも喜んでもらえました。青い光が外に漏れるかどうかは当日火を灯してみないとわからなく、とても心配でした。しかし実際は綺麗に青色に光ってくれました。飲食店ということもあり、ろうが垂れないようにコースターを引いて対応しました。



<チャリティーキャンドル> ~夏至~

- タイトル:いのちの輝き
- 設置場所:表参道ヒルズ内 洋食ミヤシタ, YKスクエア前
- コンセプト:このキャンドルは卵をモチーフにしたもの。卵は新たな命、成長、可能性を象徴している。そして中に灯す火はエネルギー。エネルギーを元に人々の思いが混ざり合い、新たな形を作り出す。
- イベント当日の状況
チャリティーキャンドルは1つ300円で販売し、全てを東日本大震災の義援金として寄付しました。300円という値段をつけて販売しているので、300円の価値があるようなデザインにすることが大変でした。カフェのキャンドルを置いていただいた洋食ミヤシタのお店の前で、募金を呼び掛けたこともあって、完売することができました。



2011年度 学生プロジェクト活動状況報告書【9月号】



Candle night@Shibaura Institute of Technology in Omiya

<カフェ>(案) ~冬至~

●タイトル:①繭(まゆ) ②雪影(せつえい)

●設置場所:芝浦工業大学大宮キャンパス2号館入口前ピロティ

●コンセプト:①繭のようにはりめぐらされた糸によって、灯が周囲に複雑な影を作りながら光る。

蝋燭の灯が揺らめくことで、繭の中に生命を感じる。

:②蝋燭を囲む雪の結晶が周囲に影を作る。雪の冷たさと灯の暖かさ両方を感じさせる。

●素材:①ティーキャンドル、ティーキャンドルスタンド、タコ糸

:②ティーキャンドル、ティーキャンドルスタンド、クリアファイル、画用紙、廃油

●設置方法:ピロティに机を設置し、机置き・床置き

●作品サイズ:■机置き①W×D×H=100mm×100mm×100mm

:■床置き②W×D×H=100mm×100mm×40mm

●防火対策:常駐するスタッフによる火の管理、火を消すための水を用意



<インスタレーション>(案)~冬至~

●タイトル:①冬のかくれんぼ ②夜空のこんぺいとう ③こんにちは

●設置場所:①大学入口階段 ②2号館前通路 ③2号館と学生会館の間の通路

●コンセプト:①冬の寒い中でも遊びまわる子供たちが、キャンドルの光によって現れたり消えたりする。

②現代光があふれ、見えづらくなっている星。その星を光と影を使い、表現する。

③遠くから見えないものも、近づくと一つ一つ個性があり、見る人を魅了する。



●ホームページの作成 <http://candlelight-shibaura.jimdo.com/>

今後の活動計画、目標、意気込みなど

現段階では、冬至のキャンドルナイトに向け試作や新しいアイデアを出し合っています。近々、作品決定を行い、作品を作っていこうと思います。

今後は地域住民との交流によって、大学と地域を近付けるようなイベントを考えています。今現在、地域の子供たちとのキャンドル教室で家庭から出た廃油を使用し、住民の方々に節電やエコ活動を身近なものとして感じてもらえるような機会ができればと考えています。

初年度ですが、これが伝統の活動となるように努力していきたいと思っています。